

## ●世界の主な地震

平成 25 年（2013 年）8 月に世界で発生したマグニチュード（M）6.0 以上または被害を伴った地震の震央分布を図 1 に示す。また、その震源要素等を表 1 に示す。

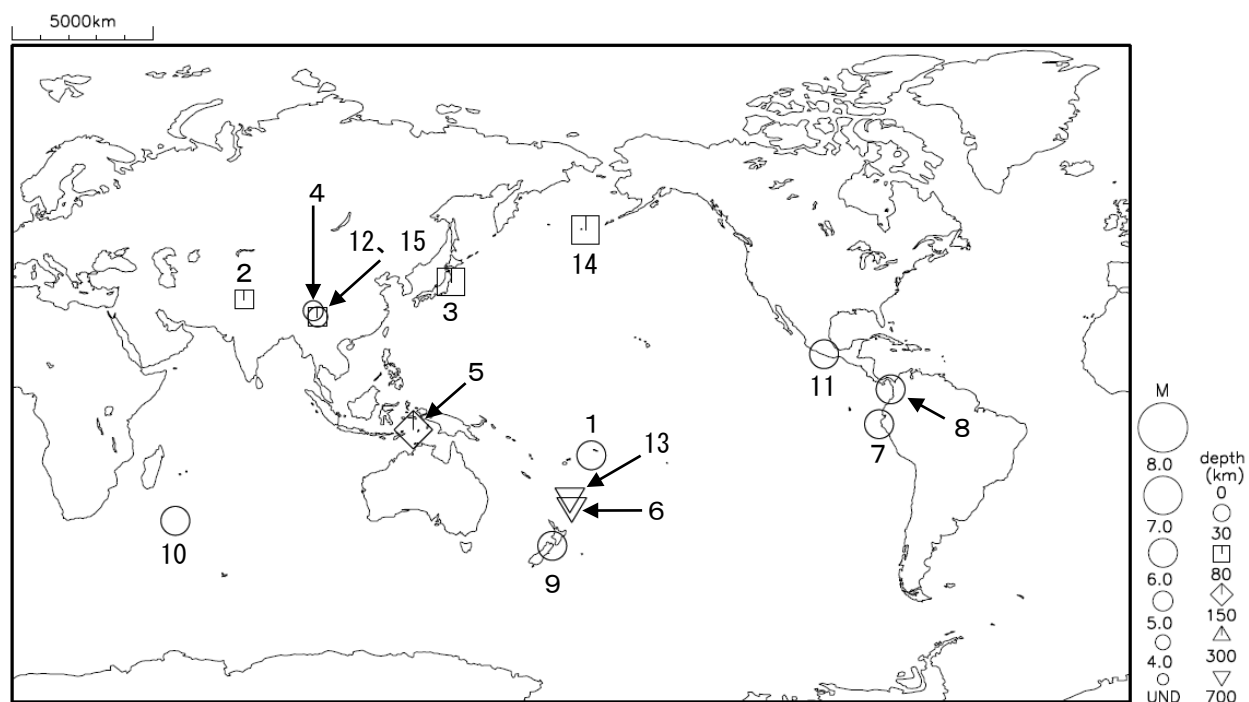


図 1 平成 25 年（2013 年）8 月に世界で発生した M6.0 以上または被害を伴った地震の震央分布

- \* : 震源要素は米国地質調査所(USGS)発表の QUICK EPICENTER DETERMINATIONS(QED)による。ただし、日本付近で発生した地震の震源要素及びマグニチュードは気象庁による。
- \*\* : 数字は、表 1 の番号に対応する。
- \*\*\*: マグニチュードは表 1 の mb（実体波マグニチュード）、Ms（表面波マグニチュード）、Mw（モーメントマグニチュード）のいずれか大きい値を用いて表示している。

表 1 平成 25 年（2013 年）8 月に世界で発生した M6.0 以上または被害を伴った地震の震源要素等

| 番号 | 地震発生時刻       | 緯度         | 経度          | 深さ<br>(km) | mb  | Ms    | Mw    | 震央地名                   | 備考<br>(被害状況など)           | 北<br>西 | 遠<br>地 |
|----|--------------|------------|-------------|------------|-----|-------|-------|------------------------|--------------------------|--------|--------|
| 1  | 08月02日05時01分 | S15° 16.0' | W173° 30.5' | 9          | 6.2 | 5.9   | 6.0   | トンガ諸島                  |                          |        |        |
| 2  | 08月03日06時37分 | N33° 17.5' | E 75° 57.1' | 43         | 5.2 |       |       | カシミール東部                | 負傷者 2 人以上、<br>建物被害100棟以上 |        |        |
| 3  | 08月04日12時28分 | N38° 09.7' | E141° 48.1' | 58         | 5.8 | (6.0) | (5.8) | 宮城県沖                   | 負傷者 4 人                  |        |        |
| 4  | 08月12日06時23分 | N30° 03.4' | E 97° 57.0' | 4          | 5.8 |       |       | チベット自治区（中国）            | 家屋と道路に被害                 |        |        |
| 5  | 08月12日09時53分 | S 7° 09.0' | E129° 49.7' | 92         | 6.2 |       | 6.0   | バンダ海                   |                          |        |        |
| 6  | 08月12日13時16分 | S30° 37.1' | W179° 43.4' | 343        | 5.7 |       | 6.1   | ケルマデック諸島               |                          |        |        |
| 7  | 08月12日18時49分 | S 5° 23.0' | W 81° 52.3' | 10         |     |       | 6.2   | ペルー北部沿岸                |                          |        |        |
| 8  | 08月14日00時43分 | N 5° 46.4' | W 78° 12.0' | 12         | 6.3 | 6.3   | 6.7   | パナマ南方                  |                          |        |        |
| 9  | 08月16日11時31分 | S41° 46.0' | E174° 03.6' | 10         |     |       | 6.5   | ニュージーランド、<br>クック海峡     |                          |        |        |
| 10 | 08月18日01時32分 | S34° 53.0' | E 54° 04.0' | 10         |     |       | 6.1   | 南西インド洋海嶺               |                          |        |        |
| 11 | 08月21日21時38分 | N16° 55.0' | W 99° 22.8' | 20         |     |       | 6.2   | メキシコ、ゲレロ州<br>沿岸        |                          |        |        |
| 12 | 08月28日05時44分 | N28° 13.0' | E 99° 19.5' | 43         | 5.0 |       |       | 中国、雲南省                 | 家屋損壊36棟以上                |        |        |
| 13 | 08月28日11時54分 | S27° 47.7' | E179° 40.3' | 489        |     |       | 6.2   | ケルマデック諸島               |                          |        |        |
| 14 | 08月31日01時25分 | N51° 36.6' | W175° 21.6' | 34         |     |       | (6.9) | アリューシャン列島<br>アンドリアノフ諸島 |                          |        | ○      |
| 15 | 08月31日09時04分 | N28° 13.7' | E 99° 22.2' | 10         |     |       | 5.8   | 中国、雲南省                 | 死者 3 人、負傷者<br>24人        |        |        |

- ・震源要素、被害状況等は米国地質調査所(USGS)発表の QUICK EPICENTER DETERMINATIONS(QED)による（平成 25 年 9 月 1 日現在）。ただし、日本付近で発生した地震の震源要素、マグニチュード（Ms の欄に括弧を付して記載）及び Mw の欄が括弧つきで記されている地震のモーメントマグニチュードは気象庁による。また、日本国内の被害状況は総務省消防庁による。
- ・8 月 31 日に発生した中国、雲南省の地震の被害状況は中国地震局による（平成 25 年 8 月 31 日現在）。
- ・震源時は日本時間〔日本時間＝協定世界時＋9 時間〕である。
- ・「北西」欄の○印は、気象庁が北西太平洋域に提供している北西太平洋津波情報（NWPTA）（地震・火山月報（防災編）2005 年 5 月号参照）を発表したことを表す。
- ・「遠地」欄の○印は、気象庁が「遠地地震に関する情報」を発表したことを表す。

## 8月31日 アリューシャン列島アンドリアノフ諸島の地震

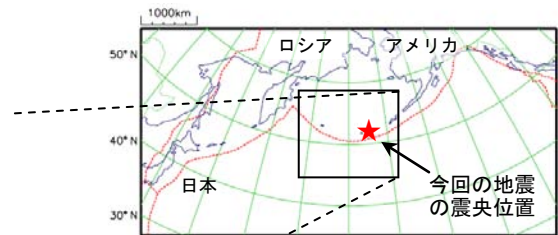
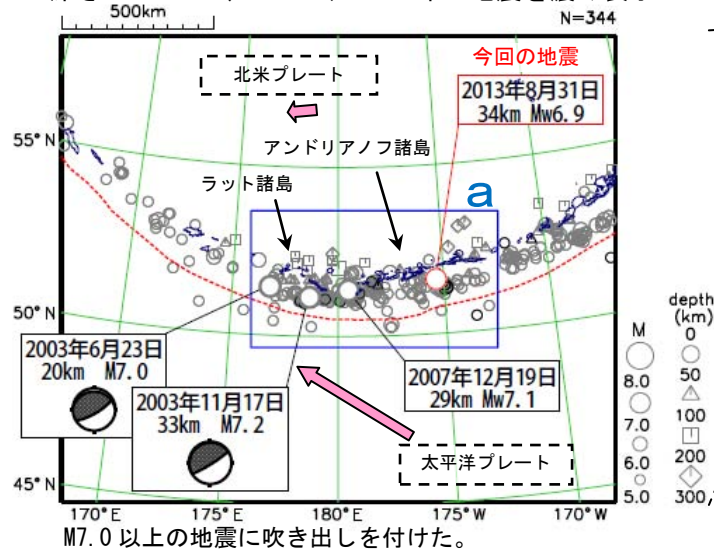
2013年8月31日01時25分（日本時間、以下同じ）に、アリューシャン列島アンドリアノフ諸島の深さ34kmでMw6.9の地震が発生した。この地震の発震機構（気象庁によるCMT解）は北北西-南南東方向に圧力軸を持つ逆断層型で、沈み込む太平洋プレートと北米プレートの境界で発生した。

気象庁は、この地震により、同日02時04分に遠地地震に関する情報（日本国内向け、「この地震による日本への津波の影響はありません」）を発表した。

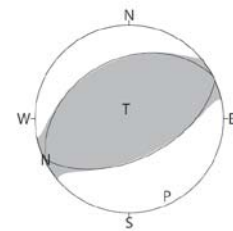
2001年1月以降の地震活動を見ると、今回の地震の震央周辺（領域a）では、M6.0を超える地震がしばしば発生している。また、1901年以降の地震活動を見ると、今回の地震の震央周辺では、M8.0以上の地震が4回発生している。このうち、1957年3月9日に今回の地震の震源付近で発生したMw8.6の地震により、アリューシャン列島のユニマック島で12m、ハワイのカウアイ島で16m、日本国内では広尾で106cm（全振幅）など、太平洋の広い範囲で津波が観測された（「日本被害津波総覧」による）。

震央分布図※

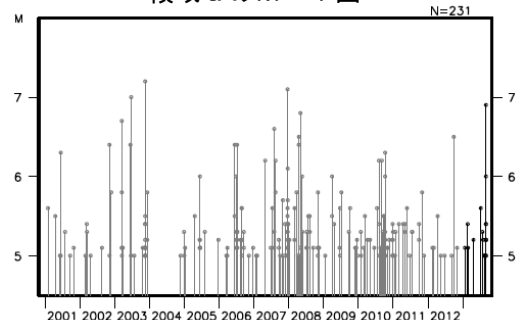
（2001年1月1日～2013年8月31日、  
深さ0～300km、M≥5.0）2013年の地震を濃く表示



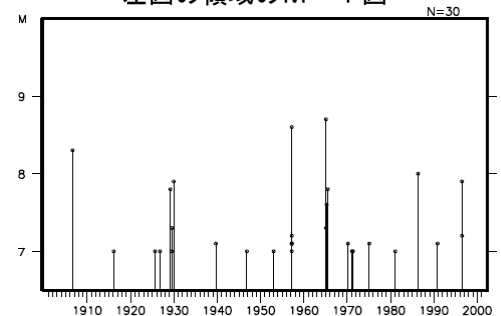
今回の地震の発震機構  
（気象庁によるCMT解）



領域aのM-T図※

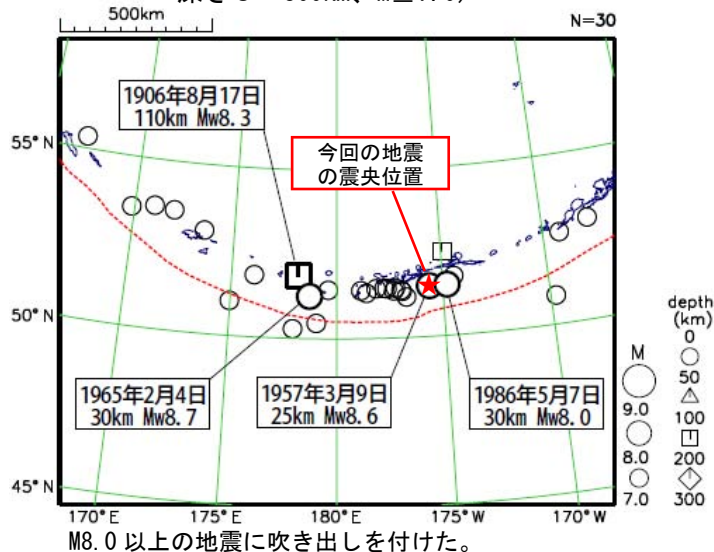


左図の領域のM-T図※



震央分布図※

（1901年1月1日～2000年12月31日、  
深さ0～300km、M≥7.0）



※本資料中、今回の地震のMwは気象庁による。その他の震源要素は、2000年以前は国際地震センター（ISC）、2001年以降は米国地質調査所（USGS）による。プレート境界の位置と進行方向はBird（2003）\*より引用。

\*参考文献

Bird, P. (2003) An updated digital model of plate boundaries, *Geochemistry Geophysics Geosystems*, 4(3), 1027, doi:10.1029/2001GC000252.